

東電 4年ぶり経常黒字

福島原発事故後初めて

東京電力は三十一日、二〇一四年四～六月期連結決算を発表し、経常損益が五百二十五億円の黒字となった。四～六月期の経常黒字は四年ぶりで、福島第一原発事故後では初めて。前年同期は二百九十四億円の赤字だった。

火力発電の効率を上げ、巨額の費用がかかる燃料費を抑制した。発電所の修繕を先送りするなど、経費削減策や家庭向け電気料金の抜本値上げの効果も出た。燃料費は百十四億円減の六千二百四十九億円となり、五年ぶりに減少した。四月下旬の気温が高く、暖房需要が減り、販売電力量が減ったことも影響した。給与のカット幅を圧縮したため、人件費は上昇した。広瀬直己社長は三十一日記者会見し「業績を上げた社員に還元し、人材流出を抑制したい」と説明し、理解を求めた。

再稼働時期が見通せない柏崎刈羽原発（新潟県）に

ついては、「安全対策などを地元で理解してもらう活動をもっとしないといけない」と述べた。売上高は原燃料費調整制度に基づく電気料金の上昇も加わり、9・1%増の一兆五千六百八十五億円と、

四～六月期としては過去最高となった。純損益は千七百三十二億円の赤字（前年同期は四千三百七十九億円の黒字）に転落した。原発事故の損害賠償のため、二千八百八十八億円の特別損失を計上したことが響いた。

決算 電力10社 明暗

電力10社の14年4～6月期 連結決算と燃料費

	経常損益	燃料費	
北海道	▲42 (▲158)	464	(410)
東北	568 (▲58)	1309	(1234)
東部	525 (▲294)	6249	(6363)
中部	150 (▲463)	3024	(2968)
北陸	104 (14)	259	(285)
関西	▲322 (▲425)	2902	(2516)
中国	197 (▲137)	804	(927)
四国	21 (▲138)	373	(408)
九州	▲365 (▲646)	1745	(1780)
沖縄	▲18 (▲11)	138	(137)
合計	▲747 (▲2330)	1兆7267	(1兆7028)

※単位は億円、()内は前年同期、▲は赤字、経常損益の合計は赤字額、燃料費は単体ベース

大手電力10社の二〇一四年四～六月期連結決算が三十一日、出そろった。主に電気料金の抜本値上げにより東北電力など5社が黒字転換するなど、6社が経常黒字となった。一方、原発

依存度の高い関西電力など4社は、火力発電の燃料費がかさみ赤字を計上、明暗が分かれた。燃料費（単体ベース）は10社合計で一兆七千二百六十七億円で、前年同期から1・4%増えた。